

スノーケリング

自然体験的学習活動

A-1-(1)-①

活動の概要	渡嘉敷の海は、澄んで透明度が高く、サンゴ礁が発達しており、色とりどりの魚が泳ぎまわっている。それらの海底・海中の様子をスノーケリングで観察し、自然に親しみながら、環境などの理解に役立てることができる。
対 象	小学校高学年以上
実施時期	入水可能な水温・気温であれば可
用 具	・マスク ・スノーケル ・フィン ・救命胴衣 *状況に応じて、ウェットスーツ
活動場所	海洋研修場（渡嘉志久湾内の珊瑚礁）
活動形態	指導員の引率の元、二人一組でバディーを組み、湾内の珊瑚礁等を観察する。
活動上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に、指導員と青少年交流の家職員が打ち合わせをする。 ・健康状態に留意し、準備運動を必ず行う。 ・食事直後のスノーケリングは避ける。 ・スノーケルの扱い方を確実にできるようにする。 ・初心者は救命胴衣を着用する。 ・指導者（引率者）は、レスキューチューブを準備し、いつでも救助できるようにしておく。 ・バディーを組み、隊形を保って泳ぐ。 ・バスに乗るときは、必ず着替えをする。 <p>*指導員の確保が必要（10名の研修生につき指導員2名）</p>

